

令和4年度地域づくりセミナー 開催結果

参加者計： 47人 （ 対面： 24人 Zoom： 23人 ）

【セミナーの様子】



【チャットでの質問・回答】

質問1：地域運営組織が一体型から分散型に変化してつあるとありましたが、行政による情報提供含めて支援（補助含めて）をうけることができるのでしょうか？

回答1：千葉市の新年度予算において、多様な主体の連携による市民主体のまちづくりを推進するため、町内自治会とNPO等の交流会の開催を検討しています。（令和5年度は中央区・若葉区を想定。その後、順次、全区展開。）また、町内自治会がNPO等と連携し、地域活動に取りくむ経費の補助を検討しています。

質問2：町会の若い人が町会に興味を持ってもらえるようなHPを作りたいが費用が掛かる。市で支援できないか？

回答2：デジタル化推進のための補助（機器購入等）については、本市では令和6年度以降の実施を目指しています。そのため、令和5年度はICT活用に向けた研修会や出前講座などを開催し、各町内自治会におけるデジタル化の進め方について、皆さんと一緒に検討していきたいと考えています。

【アンケート結果】

アンケート回答計： 29人 （ 対面： 23人 Zoom： 6人 ）

問1 あなたについてお伺いします。

(1) 年代

0人 30代以下 0人 40代 5人 50代 9人 60代 15人 70代以上

(2) 関係団体等

21人 町内自治会 2人 NPO 5人 その他 3人 特になし

問2 本日の講演についてお伺いします。

(1) 本日のセミナーの満足度はいかがでしたか。

10人	大変良い	13人	良い	3人	普通	2人	少し悪い	0人	悪い
1人	未回答								

(2) 参考になった点はございましたか。(自由記述)

- ・他自治会で課題となっている事項がわかり共感できた。
- ・若い世代の考え方など統計データの内容が参考になった。
- ・各町内会の悩み、取り組み方が参考になった。
- ・南花園自治会の事例①長続きするコツ②排除しない。
- ・この1年で得た情報をまとめて次につなげたい。
- ・長年の課題はそのまま、コロナ禍でさらに加速、やはりと納得。
- ・自治会活動事項の確認。
- ・発表内容全て参考になった。
- ・課題を改めて整理した資料としては有意義であったが”正解はない”と改めて感じた。
- ・就業率の変化する中で自治会加入の「説得理由」を説明していただいたこと。
- ・自治会とNPOの連携・協働が新しい自治の変化になるのではないか。
- ・地域運営組織のモデルと現状の話。
- ・地域運営組織を一体型ではなく、分離型への転換の方法もある点が参考になった。
- ・自治会の加入率低下と稲毛区は市平均より加入率が高いこと。
- ・県内、県外の自治会の好事例の紹介。
- ・「望ましい地域での付き合いの程度」のグラフはとてもわかりやすいグラフでした。
- ・自治会に限らずPTAや育成などどんな組織もそうですが、期待する側と期待される側で求めているものがあまりにも違うので、そもそも期待する側の理想の形にはならないということがよくわかります。それでもその中で、お互いに歩み寄りいい方法を探すことに楽しみを持って活動していきたいと改めて思いました。
- ・身近な小地域での取組みにおいて、自治会活動を活性化させた全国の具体的な(行政の)支援についての紹介は大変参考になった。
- ・住民への押しつけではなく、また指導でもなく、車の両輪のように住民と行政が共に取組むことによる可能性と実効性を感じられた紹介であった。

(3) 講演をお聞きになり、今後取り組みたい(検討したい)活動はありましたか。(自由記述)

- ・持続可能な観点から、できることから(無理しない範囲で)活動していきたいと改めて感じた。
- ・防災、子ども支援、健康を中心に活動したい。
- ・イベント等に地域在住の大学生・高校生との協働する仕組みを検討したい。
- ・役員会でのLINEの活用。
- ・子ども支援、高齢者支援活動。
- ・自治会とNPO連携例としての「盆踊」、「秋祭り」は今後検討しても良いと思った。
- ・向う三軒両隣の精神の再確認を期待する、災害弱者を守る唯一の手段と思慮する。
- ・1年交替の役員任期中、稲毛区の各部署に親切に対応して頂いた。
- ・自治体との連携は重要と感じている。
- ・高齢化社会に伴い、我が事として地域の福祉問題にも取り組んでいきたい。
- ・地域とNPOとの連携がうまく計られるといいなと思いました。
- ・自治会では10数年前に当番で1年間理事を務めたことがあります。定年再雇用で勤務している現在、なかなか活動に参加することができません。
- ・消費生活アドバイザーも運営人員が不足しているのは同じです。
- ・千葉県の消費生活サポーター養成講座を先月受講しましたが、どこから活動を開始すべきか、悩んでいるところです。各自治体、公共団体、NPOの活動が一覧できるサイトがあれば参加するきっかけがつかみやすいと思います。
- ・様々な年代や世帯が参加できるイベントを通して組織を感じる機会を増やすことが、組織の存在意義のようなものを知ってもらって一番早い方法かなと思いました。上に立ってやる意欲は現在ありませんが、私の役割は参加する側ではなくおもてなし側の年代なので、自分のできる範囲で住民や地域の方に喜んでもらえるお手伝いをしていきたいと思っています。
- ・現役世代として仕事中心の時間の過ごし方を見直すことから始めたい。地域住民の高齢化に伴う課題は多いと思うが、健康寿命が伸びたことを前向きに捉え、人生後半の過ごし方についてうちの一人として、まず個人としてしっかりと考えていきたい。その上で、今何に優先的に取組むかを決めたいと思う。

問3 お住まいの地域で困っていることや気になっていることはありますか。(複数回答可)

12人	防災	8人	防犯	1人	子育て支援 (子供会含む)	3人	IT活用	4人	外国人居住者
6人	ゴミ	7人	イベント開催	8人	近隣住民との つながり	14人	地域の 担い手不足	10人	自治会の 加入率低下
5人	その他(空家、高齢化対策、若人参加、自治会未設立)								

問4 その他、お気づきの点やご要望等ございましたら、ご自由にご記入ください。

- ・町内会とNPOを連携・協働するには、具体的にどうすれば良いのか知りたい。
- ・防災・避難所関係。
- ・デジタル化推進の補助支援。
- ・自分の属する自治会の今後の実績、方向性を再確認した。
- ・もっと実例があれば参考にしたい。
- ・音声聞きずらかった。また、講師がホワイトボードに記載した内容を、カメラでアップするなどして分かるように工夫していただけると良かった。
- ・音声がとにかく悪かった。講師がマイクをもって動かないで済む様な工夫がほしい。
- ・今回の講座はいわば基本編。地域づくりのためにもっと踏み込んだ提案があるといいと思いました。
- ・チャットで指摘させていただきましたが、講師以外の方の音声聞き取りにくくなっていました。
- ・オンラインと会場のハイブリッド形式の運営は難しいのでご苦労されたと思います。
- ・講師の方はBluetoothのヘッドセットまたはインカムをつけること、会場の方はマイクを回すのではなく、スピーカーフォン等を使用したほうがよいかもしれません。
- ・役所から自治会へ求められていることがどんどん広範囲になっていると感じますが、私の自治会はある程度対応できるマンパワーを現在は持っているのではやれていると思います。流れとしては、当然住民も年を取りいつかは同じ活動はやれなくなる時期が来て、その後はきっと世代交代が来てまた今とは違った活発な自治会活動が始まるのだと思います。年を取ってもこの地域にどうかは今のところ分かりませんが、今日のような講演会に意欲を持って参加されている地域に住みたいなど思いました。また、自分達だけで解決方法を模索するのではなく、鍋島さんたちのような団体にサポートしてもらおうという発想もこれからは必要なのかなと思いました。貴重な講演、ありがとうございます。
- ・当日は、講座時間に予定が重なり、集中して参加することが難しくなりましたが、鍋島先生のお話の他、資料も拝見しましたので、アンケートの回答をさせていただきます。遅くなりまして申し訳ありません。稲毛区外の住民ではありませんが、地域づくり大学校を受講させていただいた縁で参加させていただくことが出来ました。今後もこのような企画に、オンライン参加の枠を活かして、他区からの参加についても検討していただけると有難いと思います。具体的な取組の見える講座の開催、有難うございました。